

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

公益財団法人 ハーモニイセンター

2019年度

事業計画書



公益財団法人ハーモニイセンター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
電 話 03-3469-7691
FAX 03-3469-7714

目次

—はしがき—	… 2
1 ポニーキャンプ、ポニークラブ、動物広場、牧場等の運営	… 3
1-1 ポニーキャンプ・野外体験キャンプ	… 3
1-2 HAC（ハーモニアクティブチャレンジ）	… 3
1-3 移動動物教室	… 3
1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ	… 3
1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ	… 4
1-6 小貝川三次元プロジェクト	… 4
1-7 ポニーの郷 in 河内町	… 5
2 ポニーキャンプ、ポニークラブ、動物広場、牧場等の受託管理	… 5
2-1 碑文谷公園こども動物広場	… 6
2-2 水元中央公園子ども動物広場	… 7
2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場	… 7
2-4 万騎が原ちびっこ動物園	… 8
2-5 板橋こども動物園	… 9
2-6 海老名ふれあい動物施設	… 9
2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場	… 9
3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及	… 10
4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成	… 10
5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進	… 10
6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及	… 11
7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信	… 11
8 その他	… 11

はしがき

今年6月で、現在の役職員体制になって3年が経つ。この3年間で職員の発案による運営委員会、施設長会議の定期開催と情報共有。採用・研修委員会の設置、運営。初年度の赤字を払拭するための、アルバイト雇用を初めとする各事業所の運営体制・支出の見直し。外部委託・保険・リース契約を初めとする経費の徹底見直し。指定管理施設（碑文谷、相模原）更新の対応（事業計画書作成、現地説明会に向けての施設整備、大掃除等）。内閣府、税務署、動物広場発注者である各自治体等の指導に対応し、専門家（社会保険労務士、税理士、弁護士）の力を借りながらの総務分野実務の整備等々、従来は一部の役職員に限定されていた情報や意思決定のプロセス、財務状況等を共有し、必要に応じて互いの事業所を応援し合うことで共通理解が進み、職員が各事業所での日常業務の枠を超えて能動的に考え、動き、各事業所の雰囲気にも変化が見られるようになってきた。

一方、外に眼を向けると、いじめや虐待、見る者に不快感を与える動画の拡散、官民間わぬ数々の不正、高齢者を狙った殺人や詐欺と、全ての日本人が病んでいるのではないかと錯覚してしまうような報道が日々繰り返されている。加えて隣国の動きや、今やどこで何が起きても不思議ではないと思える自然災害の規模・頻度を考えると、誰もが今の生活が半年先も続くと想像するのが難しくなっているのではないだろうか。

このような時代にあって、公益財団法人として、社会教育団体としてハーモニィセンターに求められるものは何なのか…

その答は、いじめや虐待の存在を知った時に見て見ぬふりをするのではなく、解決に向けて自発的に動くことのできる力、災害時に周囲の人のお世話ができるような力を子どもたち、青年たちに身につけてもらうことであり、これらは多様な価値観を持った大勢の異年齢集団の中で生活すること。そして、個々人に応じた目標設定と、達成感や自己肯定感の獲得のためにポニーがその生活の中心にあることが極めて有効である事を、我々は経験上知っている。

31年度はこのことの実現のため、公共の福祉に奉仕するという公益法人の指名を果たすため、各事業所の運営、楽しみにしてくださっている多くの方への既存事業の提供に加え、100キロ圏内の新拠点作りをきっかけにして、河川騎馬パトロールや災害時の自助、共助活動で積極的に動く力を身につけるプログラムを推進してゆく。

ハーモニィセンターの設立から間もなく60年。中心となる活動は、初期の子ども会や施設訪問、働く若い人の仲間作りから、ポニーキャンプ・乗馬教室の実施と動物広場の運営に移行してきている。しかし、6年前の公益財団法人への移行の際、「行動規範」として定款に改めて明確に位置付けた通り、「常に立ち戻るべきよりどころ、大原則」がハーモニィ憲章であることに変わりはなく、今一度、職員は日々憲章を意識しつつ、前述の問に答えてゆかなければならない。この憲章で言われる「すべての人」には虐待した側の親、いじめている側の子どもたち、不正をした大人、犯罪に手を染めてしまった人、手を染めかねない人等も含まれなければならない。

1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営

1-1 ポニーキャンプ・野外体験キャンプ

前年度、勝浦での新規キャンプを開拓したが、蓼科キャンプ参加者数が落ち込んでしまった。今年度は既存プログラム内容の充実を図り、キャンプ参加者数を伸ばしていく。総実施回数は昨年比+3回。
7月末には東北支援事業の一環として NPO 法人亘理いちごっここと協力しポニーキャンプを実施する。

【年間の代々木事業所主催キャンプ】

	実施回数	延べ泊数	参加数	
			子ども	大人
長期	31回	85泊	850名	0名
短期	14回	23泊	300名	50名
計	45回	109泊	1,100名	50名

1-2 HAC (ハーモニアクティブチャレンジ)

従来の「登山部」・「川遊び部」、勝浦市でのプログラムやアウトドアクッキング、スケートなどに加え、より幅広いプログラムで参加者を増やしたい。今年度は13回実施予定。

1-3 移動動物教室

前年度と同程度の70回前後の実施を見込んでいる。特徴的なものとしては、一般財団法人日本ユースホステル協会の東京都ひとり親家庭福祉協議会事業の受け入れ、取手市内において高齢者支援施設の利用者の体験活動を実施する。

1-4 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
レッスン (5歳以上)・障がい者乗馬レッスン・引馬 (1人乗り・2人乗り)
- ② 小動物とのふれあい
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理
実施なし
- ④ ポニー教室 (個人・団体)
月2回実施 (TJPC)
- ⑤ 動物クラブ
実施なし
- ⑥ 障害児乗馬教室
馬の学校 (白樺 YH)
- ⑦ 各種イベントの開催
八ヶ岳ホースショー・ポニーライダーズカップ・OB/OG会 (年3回)
- ⑧ 移動動物教室
AKS 乗馬会・妙高国立青年の家・お台場 NRT・長岡カーニバル・日野新選組
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ

- 自由学園体験旅行
- ⑩ 馬車の運行
実施なし
- ⑪ その他
ポニーキャンプ・スタッフ研修・乗用馬生産育成・預託馬受入れ・カウンセラー研修

【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

3歳馬2頭、4歳馬1頭、未調教3頭の調教

【今後3～5年かけて実現したいこと】

厩舎建替え

1-5 相馬ポニー牧場・ポニークラブ

引続き、南相馬市の要請に応じ地域の除染土仮置き場、倉庫として活用していく。

東京電力への賠償請求については、原子力損害賠償紛争解決センターによる和解仲介（ADR）申し立てを進める。

1-6 小貝川三次元プロジェクト

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
レッスン・障害者乗馬レッスン・引馬
- ② 小動物とのふれあい
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理
実施しておりません
- ④ ポニー教室（個人・団体）
日曜日・祝日に実施（小学生～中学生まで）・
WAC（市内・高齢者団体）
- ⑤ 動物クラブ
実施なし
- ⑥ 障害児者乗馬教室
団体：ぱお・星の子・ポランの広場・どんぐりの会・カモミール・チーム谷中・チームみかん・
葛飾 PA 遠足
- ⑦ 各種イベントの開催
フラワーカナル・取手市産業まつり・ネットワークフェア・小貝川 E ボート大会
河内町河川騎馬パトロール
- ⑧ 移動動物教室
水の郷さわら・碑文谷フェスティバル・住友不動産エスフォルタイイベント・港区港南支所イベ
ント・まつりつくば・NYC キッズフェスタ・千代田区青少年委員会自然体験等事業・シミズオ
クト・長岡カーニバル・日体幼稚園移動乗馬・常総環境センターふれあいデー・藤代なごみの郷
（取手市 特別養護老人ホーム）
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
ラフェリーチェ保育園・藤代小学校・取手第一中学校・藤代南中学・伊奈第二保育所・育英保
育園・谷和原第2保育所
- ⑩ 馬車の運行
実施なし
- ⑪ その他
ポニーキャンプ・HAC (Harmony Active Challenge) ・カヤック教室・ライフジャケットなど
の資機材貸し出し業務・ひとり親家庭乗馬会・カウンセラー研修・生き生きクラブ研修室貸し出
し業務・青葉台中初等部飼育馬管理・流通経済大学連携プロジェクト



【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

三次元プロジェクト（空）の実施・流通経済大学（竜ヶ崎市）をはじめとした地域団体との連携
拡充

【今後3～5年かけて実現したいこと】

馬場・馬房の改修工事・三次元プロジェクト空部門の開発と定着

1-7 ポニーの郷 in 河内町

東日本大震災以降の懸案であった「首都圏100km圏内の新拠点」として、2017年末に茨城県稲敷郡河内町で活用事業者募集のあった廃校の運用を開始する。当施設では、従来のポニーキャンプを初めとするポニー牧場実施事業に加えて防災学習、災害時に率先して動けるようになるための体験の提供、学校や各種団体の平日利用、動物広場来場者の学校卒業後の活動場所の提供といった、立地条件や校舎という施設の特徴を生かした新たな視点での運営を進める。

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
レッスン・障害者乗馬レッスン・引馬
- ② 小動物とのふれあい
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理
実施なし
- ④ ポニー教室（個人・団体）
- ⑤ 動物クラブ
実施なし
- ⑥ 障害児者乗馬教室
動物広場利用団体
- ⑦ 各種イベントの開催
お披露目会
- ⑧ 移動動物教室
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
小中学生の集団宿泊研修・大学や専門学校・企業・学習塾等の宿泊研修事業
- ⑩ 馬車の運行
実施なし
- ⑪ その他
ポニーキャンプ、

【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

施設・設備の整備と運営体制の確立。

【今後3～5年かけて実現したいこと】

参加費無料の長期宿泊体験事業

2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理

動物広場（ふれあい動物広場、動物園）の運営は、全て各自治体（万騎が原、海老名については公園を管理する指定管理者）とハーモニセンターとの間で交わす契約書・仕様書（委託）、協定書（指定管理者）に基づいて行われる。

指定管理者である碑文谷、相模原では更新した1年目（期間：5年）であり、日常の運営についても新たな気落ちで臨む。また、板橋では現在本園の改装工事であるため、改築後も運営に携われるように、準備をしていきたい。

さらに、全事業所で場内の整理・整頓、丁寧な清掃、丁寧な対応により、これまで以上に来園者にとって居心地よく、「また行きたい」と言っていただける「安全・安心」の広場作りを進める。

【施設概要一覧】

	所管課・契約先	面積等	飼育動物	職員数
碑文谷	目黒区都市整備部みどりと公園課	3,310 m ²	ポニー 6 頭・ウサギ・モルモット・犬・亀	6 名
水元	葛飾区教育委員会地域教育課	3,263 m ²	ポニー 10 頭	10 名
相模原	相模原市環境保全部公園課	15,000 m ²	ポニー 21 頭・ヤギ・ヒツジ・モルモット・ウシ・ブタ・リスザル・アライグマ・シマリス・ミーアキヤット・ハイラックス・シカ・ウサギ・鳥類・クジャク・チャボ等	18 名
万騎が原	公益財団法人横浜市緑の協会	2,000 m ²	モルモット・日本鶏・ハツカネズミ	3 名
板橋 2 園	板橋区土木部みどりと公園課	本園 1,907 m ² 高島平分園 583 m ²	ポニー 4 頭・ウサギ・モルモット・ヤギ・シカ・ヒツジ・フラミンゴ・クジャク・カメ・鳥類・リス等	10 名
海老名	相鉄企業株式会社	2,014 m ²	ポニー 2 頭 モルモット、ウサギ、チャボ	3 名
上千葉	葛飾区都市整備部公園課	2,100 m ²	ポニー 5 頭・ヤギ・ミニブタ・ウサギ・シマリス・リスザル等	6 名

【各施設事業内容等】

2-1 碑文谷公園こども動物広場（ポニー園）

【事業内容】

- ① ポニー引き馬乗馬
- ② 小動物とのふれあい
- ③ ポニー教室
個人向け：4～6 月、7～9 月、10～12 月、1～3 月の年 4 期
団体向け：障害児グループ・幼稚園・保育園・学校・一般グループ
- ④ 動物クラブ
- ⑤ 各種イベントの開催（ポニーまつり、ミニイベント、親子乗馬会など）
- ⑥ その他（職業体験、大学生研修受け入れなど）



【現在の課題+2019 年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・年間予定、日常業務の見直し
動物クラブや大人親子乗馬会、ミニイベント、ポニーキャンプなど、自主的に行っているプログラムを見直し、より利用者のニーズにあったもの、喜ばれるものを目指す。
また、日常の作業効率を見直し、その結果生まれた時間を、職員のスキルアップや日常プログラムの質向上、安全管理、老朽化しつつある施設の維持管理などへ繋げていきたい。
- ・ブログの立ち上げ
4 年前から停止している広場のブログを再始動する。

【今後 3～5 年かけて実現したいこと】

- ・職員の一層のスキルアップと定着
既に調教された馬に頼ることなく、現職員自らの力で安全性を確保し、利用者の皆さんに魅力あるプログラムを届けられるよう、職員の一層のスキルアップと定着を図りたい。

2-2 水元中央公園子ども動物広場（ポニースクールかつしか）

【事業内容】

- ① ポニー乗馬（引馬）
馬場内での無料引馬（1人1回限り）。3歳以上
小学校6年生までが対象。
- ② 小動物とのふれあい
実施なし
- ③ 展示動物飼育管理
実施なし
- ④ ポニー教室
個人：葛飾区在住・在学の小学生～中学生を対
象に実施
団体：中学生以下の団体（区外の団体可）
- ⑤ 動物クラブ→実施なし
- ⑥ 障害児乗馬教室
パートナーアニマル個人教室：葛飾区在住・在学の小学生から20歳までを対象に実施
パートナーアニマル団体教室：中学生以下の団体（区外の団体可）
- ⑦ 各種イベントの開催
「区民誰でも乗馬会」年に2回開催。
教室会員を対象に、「こどもまつり」や「クリスマス音楽会」、「マラソン大会」等を開催
- ⑧ 移動動物教室
葛飾区からの依頼で、4月に「葛飾区こどもまつり」、10月に「かつしかスポーツフェスティバル」に参加、引馬と軽乗見本演技披露を実施予定
- ⑨ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
④と⑥の「団体対応」にて対応。
- ⑩ 馬車の運行
実施なし。
- ⑪ その他
高齢者乗馬：葛飾区高齢者支援課からの依頼で、年間3回（前期・中期・後期）の高齢者乗馬
を実施



【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・馬の育成（若年馬の調教）→馬の入れ替え
- ・職員の育成→事業所内の業務だけではなく、他事業所の業務にも対応できる職員を育成
- ・施設内のスリム化（不要物の整理）

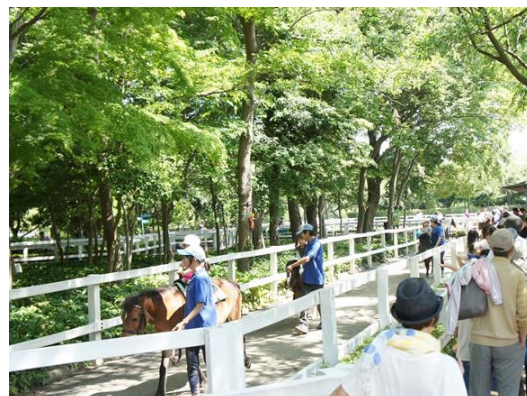
【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・職員や馬の育成をする場としての役割を積極的に担う
- ・「軽乗」ブランドの確立→対外的に第一人者としての地位を確立する

2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

【事業内容】

- ① ポニー乗馬（親子二人乗り乗馬あり）
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ 牛の搾乳体験
- ⑤ ポニー教室（個人）
- ⑥ 動物クラブ
- ⑦ 子どもボランティア育成プログラム



- ⑧ 障がい児乗馬教室
- ⑨ 各種イベントの開催
- ⑩ 移動動物教室
- ⑪ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑫ さがみはらっこポニーキャンプ
- ⑬ 動物のエサやり体験
- ⑭ 健康作り乗馬教室
- ⑮ その他

【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

近年利用者数が減少している。利用者増につながる努力をしていきたい。

子どもの人口減と反比例して、高齢者の人口が増えている。今年度は、高齢者を対象とした「健康作り乗馬」を取り入れ、利用者の年齢層を広げる活動を目指す。

【今後3～5年かけて実現したいこと】

移設後27年を経ており、施設の老朽化が進んでいるため、市と相談しながら順次修繕を進め、利用者によりよい憩いの場を提供していきたい。

また、施設同様、動物も高齢化している為、「ふれあい動物広場」に適した動物の補充を進めてゆく。その一環として、鹿の展示スペースをウォークインにし、おとなしい動物を2・3種放し、身近に見る・触ることができるようにしたいと構想中。

2-4 万騎が原ちびっこ動物園（野毛山動物園分園）

【事業内容】

- ① 小動物とのふれあい
- ② 展示動物飼育管理
- ③ 各種イベントの開催（冬のミニイベント：クリスマスカード作り、モルモット探しなど）
- ④ 野外活動センター飼育体験キャンプ受け入れ
- ⑤ その他（ポニー体験乗馬プログラム）



【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・非常勤職員の確保・育成
- ・作業の効率化
- ・今まで行き届いていなかった細部の掃除（日本鶏舎の金網全体など）

【今後3～5年かけて実現したいこと】

- ・大人も子供も読める広場オリジナル冊子などを作成し、来園者に向けて、広場の魅力や楽しさ、さらに大切なこと（人や動物との関りを通じて、責任感、優しさや思いやりなどを育み、将来に役立つ力を養う）をより積極的に伝える。
- ・掲示物の充実（動物紹介など）
- ・動物種の追加（ニワトリの種類追加）
- ・動物クラブを作る
- ・自主事業として、グッズやエサを販売。

2-5 板橋こども動物園(本園・分園)

【事業内容】

- ① ヤギ・ヒツジ放し飼い
- ② モルモットだっこ
- ③ ポニー乗馬
- ④ ヤギ・ヒツジ・シカのえさやり
- ⑤ ポニーの馬車 (本園改築中のため休止)
- ⑥ ポニーの特別体験乗馬 (本園改築中のため休止)
- ⑦ こども動物クラブ
- ⑧ ポニー教室 (本園改築中のため休止)
- ⑨ 出張動物園
- ⑩ 出張ふれあい



【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

課題

- ・動物クラブの参加数が少ない。

力を入れて取り組みたい事

- ・利用者満足度向上。
- ・動物クラブの中身の検討と改善。
- ・社会教育団体職員としての意識改革。
- ・改築後に向けての備品整理。
- ・施設内の整理、整頓。
- ・イベント運営の共通化

2-6 海老名ふれあい動物施設

【事業内容】

- ① ポニー乗馬
- ② 小動物とのふれあい (ウサギ、モルモット、チャボ)
- ③ ポニー教室 (個人：長期休み期間に実施)
- ④ 各種イベントの開催 (季節ごとに運動公園内のイベントへの参加、ポニーイベントの開催)
- ⑤ 移動動物教室 (市内イベントへの派遣、自治会・幼稚園・保育園・小学校への派遣)
- ⑥ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ
- ⑦ 馬車の運行

【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・事業の適正化と収支の改善

2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

【事業内容】

- ① ポニー乗馬 (引き馬のみ)
- ② 小動物とのふれあい
- ③ 展示動物飼育管理
- ④ ポニー教室 (個人) 年3回 (1回につき5日間)
- ⑤ 動物クラブ 6月～3月
- ⑥ ミニイベントの開催 (不定)
- ⑦ 出張動物教室 (盲学校や高齢者施設などに出張)
- ⑧ 幼稚園・保育園・学校等の団体の受け入れ



【現在の課題+2019年度、力を入れて取り組みたい事】

- ・今年度9月の委託契約更新（3年間。競争入札）に向け、日頃から充実した運営を心がける。
- ・動物クラブの活動人数を増やす。
- ・ポニー教室についても常に定員数に達するようにする。
- ・老朽化した施設の修繕を進める。

3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及

3-1 三鷹市立第一小学校における馬を軸にした体験活動

市立小学校で授業時間中に丸1日かけて行われる事業に馬と指導者を派遣する。年4回実施され、今年度は4年計画の最終年となる。

3-2 その他の体験活動

都内小学校で1～4校時を利用し、PTAとおやじの会が主体となって、2、4、6年生に対し動物とふれあう体験活動を担当する。

4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成

30年度に国土交通省関東地方整備局利根川河川事務所によって河川協力団体に認定された際に策定した5年間の活動実施計画に基づいた活動が終了した。引続き、小貝川ポニー牧場を中心として河川に賑わいを取り戻し、環境点検・保全・清掃・事故防止・災害時に貢献すべく、次の5年の事業計画を策定する。

【事業内容】

- ① 騎馬による河川パトロール活動（年数回、危険箇所等のチェック、ごみ拾い）
- ② 移動乗馬教室開設（河川敷、各種教育福祉施設広場など）
- ③ 河川流域関連イベント参加
- ④ 河川流域関連学習、研究会の開催
- ⑤ 河川敷の除草
- ⑥ ウェルネスフェスティバルにてEポート大会の企画・運営

5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進

5-1 モンゴル大草原乗馬交流

昨年実施したモンゴル文化教育大学との乗馬交流を基に、夏季事業実施を中心として、更なるプログラムの充実を目指す。

5-2 日独青少年相互交流計画

日本とドイツの青少年がお互いの国を行き来し、異文化交流を通して学びあい、国際的視野を広げる機会とする。隔年で派遣と受け入れを交互に行っており、今年度は本事業開始時からのパートナーである大崎市鳴子国際交流協会と合同で派遣する。

また、並行して官民間わず、受け入れも含めた新たなパートナー探し、翌年の受け入れ経費捻出のための調査（助成金申請・協賛企業探し等）、また来年度に控えた30周年に向けた準備を進める。

日程 8月12日～27日

人数 15人程度

対象 高校生～概ね30歳の青少年

6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及

全国乗馬倶楽部振興協会、JRA、ゆるやかネット、その他のグループが乗馬の効用、馬の活用状況に関連して実施する研究集会、調査、交流会等に積極的に参加・協力し、当会が蓄積してきたノウハウ、成果等を積極的に発信すると共に、参加職員の研修、情報収集にも努める。

7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信

7-1 機関紙「THE HARMONY CENTER」の発行

ハーモニセンターに連なる多彩な会員・関係者に取材することにより、キャンプ中心ではなく、大人も楽しめる読み物として質の高い情報発信に努める。

- ① 発行ペース：月刊
- ② 掲載内容：ハーモニセンターの行う「社会教育活動」の紹介
- ③ 発行部数：各号2,000部
- ④ 設置場所：公的機関（役所・公立図書館）および有料で設置できる場所（郵便局・銀行）

7-2 WEBによる広報活動

30年度に会員管理システムと共にHPのリニューアルを行った。これからもより見やすいHPが出来るよう随時、改良を行っていく。さらに、全体の事業、取り組みを知っていただくため、写真・動画を増やし充実を図っていくと共に営業ツールとして活用し宣伝を行っていく。

7-3 パンフレット・チラシの活用

インターネット環境のみに頼ることなく、今年度も紙媒体を充実させ、「全職員広報マン」の意識を持って牧場、動物広場への利用者誘導に努める。

8 その他

8-1 人材育成

8-1-1 職員

昨年度設立された人事・採用・研修委員会が、年間通じた階層・年齢層・テーマに合わせた研修プランを作成し、実施する。

また社外のシンポジウム、セミナー、研修会に積極的に職員を出席・参加させる。

8-1-2 ポニーキャンプカウンセラー研修

子どもトレーニングキャンプを中心とした、ハーモニセンターが主催する全ての事業に参加する青少年を対象とし、活動を通じてハーモニセンターの活動趣旨を理解・体感・賛同し、技術を体得する事で自信を持って積極的に活動を推進する一員となることを目的とする。

① 宿泊研修会

	研修会名称	実施期間	会場	参加数
1	新人カウンセラー牧場研修会	6月7日～9日	蓼科ポニー牧場	10名
2	登山研修会	6月21日～23日	八ヶ岳	10名
3	新人カウンセラー牧場研修会	6月21日～23日	蓼科ポニー牧場	10名
4	カウンセラー研修	11月29日～12月1日	蓼科ポニー牧場	10名
5	カウンセラースキー研修	12月7日～8日	蓼科ポニー牧場	10名
6	スキー研修会	1月31日～2月3日	ヤマホクワイルドスノーパーク	8名

7	牧場研修会	1月31日～2月3日	蓼科ポニー牧場	10名
8	牧場研修会	2月18日～21日	蓼科ポニー牧場	10名
	計 8回	延べ17泊		78名

* 8はハーモニカレッジとの合同研修会。

② 日帰り研修会

各種技術（ギター、レクリエーション、プログラム作り、ポニーの扱い、野外炊事技能等の自然体験活動、安全管理等）の習得及びカウンセラー同士の相互理解を目的とする。（会場は国立青少年センター、動物広場など）

8-2 他団体との連携等

8-2-1 役員等派遣

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、NPO法人川に学ぶ体験活動協議会、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人日本Gボール協会、一般財団法人日本ユースホステル協会に役員を派遣する。

また、馬の調教や乗馬指導に関する指導を依頼される団体、機関に指導者を派遣する。

8-2-2 運営協力

治療的乗馬研究集会、日本キャンプ協会、大都市圏動物園事務主管者会議、河川流域交流会、馬を用いたセラピー・療育研究プロジェクト、CONEフォーラム・RACフォーラム、日本ユースホステル協会（一人親家庭応援プログラム、馬の楽校）の運営に協力する。

8-2-3 馬預託

TCCを初めとして依頼のあった、馬・ポニーを預かり、管理・調教を行う。

8-3 団体運営体制整備

引き続き各種規程の見直し・整備を進めると共に、職員の待遇改善を図り、将来への不安を感じることなく、夢を持って日々の業務に取り掛かってもらえる環境を作る。

8-3-1 委員会

① 人事・評価・研修委員会

現在の採用委員会を拡大し、評価制度の運用、研修の企画実施まで手がける。

馬の指導における内部審査制度。

② 危機管理委員会

各事業所の安全管理マニュアル2019年度版を作成し、各事業所、全職員で共有する。

各事業所場長で構成し、施設長会議で情報交換、課題の解決を図る。

ヒヤリハットの収集、個人情報保護

8-3-2 団体内託児事業の研究

子育てをしながら業務に就いている女性職員、近い将来子育てに入る職員は、現在全職員の1割近い7名（休暇中の職員・予備軍を含む。）に上り、団体・事業の性格上、こうした職員が安心して業務を続けるための仕組みづくりが急務となっている。今年度、団体内託児事業についての研究に着手する。

8-3-4 法人のコンプライアンス制定

8-3-5 職員のメンタルヘルス対策

前年度実施した主に管理職を対象としたハラスメント講習会を継続し、世代の異なる職員間のコミュニケーションを促進することで、職場の改善を目指す。また、職員個人のメンタルチェックを行うため、アンケート制度を導入するなど、新しいシステムを構築し、職員のメンタルケアを行う。